

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			事業開始年度		平成17年度～		根拠法令・例規等	
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり		問 担当課(室)		
	中項目	基本施策	01	未来を支える人材を育むまちづくり		答 学校教育課		
	小項目	施策	02	小・中学校		職・氏名 指導係長・小郷康弘		
事務事業名		13	国際理解教育推進事業		電 話		64-1840	
			このシート作成に要した時間		1.5 時間			

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	市内小・中学校の全児童生徒
目 的 (何のために)	小学校の英語学習の時間、中学校の英語の時間の充実
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	児童生徒が国際感覚を身につけ、基礎的な英語力を身につける。

事業の実績			
目的を達成するための実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	目的を達成するための実施した事業	小学校ALT配置事業	5・6年生で必修化となった外国語活動の充実を図るため、ALT(外国語指導助手)を2名配置。各小学校は週1回、ALTの定期的訪問を受け、外国語活動を実施。20年度までは1名配置であったが、21年度から、2名体制とした。
中学校ALT配置事業		中学校の英語の充実を図るため、ALTを3名配置。各学校の生徒は、週1時間程度、ALTの授業を受けることのできる環境にある。	
小学校外国語活動推進事業		片上小学校において、国の研究指定を受け、外国語活動の指導方法、教材開発等を研究。	
自治体国際化協会負担金事務		JETプログラム雇用ALTのあっせんを行う自治体国際化協会への負担金の事務。	
情報教育推進事業		情報教育に係る指導資料等の提供・指導・調査の実施	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		19,577	20,149	23,349	
	必要人員(人件費)	千円	0.15人	1,023	0.16人	1,375
	事業費計		20,600	21,524	24,722	
	国県支出金		900	780	389	
財源	受益者負担					
	繰入金	千円				
	その他( )					
一般財源		19,700	20,744	24,333		
受益者負担比率	%					
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	ALT配置人数(小中学校)	説明	小中学校に配置しているALTの人数			
	結果指標量	人	4	4	5	
	対前年比	%	-	100.0%	125.0%	
	活動コスト	円	20,477,000	21,410,000	24,313,000	
単位当たりコスト		5,119,250	5,352,500	4,862,600		

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
成果指標名	目標値(A)		30%	30%	30%	30%
	実績値(B)		26%	26%	26%	到達目標値
	達成率(B/A)		86.7%	86.7%	86.67%	30%
成果指標設定の考え方・式や説明						
配置人数 = (中学校数 + 小学校数) × 100 (%)						

事務事業の評価		市民ニーズ		妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	B
		<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	B
		<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	C
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
		<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない		
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある	B
		<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある		
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	B
		<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である		
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	C
		<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	C
		<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	C
		<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	C
		<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況	説明	歳出削減のため、委託契約を小学校・中学校個別とせず、一括して契約するなど改善して実施している。							

総合評価		評価区分 <A-E>	有効性・効率性
学校において、児童生徒に国際感覚及び英語力を身につけるための指導とともに、地域住民を対象とした英会話教室等、地域の国際化推進にも貢献しており、必要な事業と考える。		B	

平成23年度の方向性及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	説明	経費削減を最重視した結果、事業の品質低下となり、子どもの教育に影響を与える可能性がある。現在の人数(5人)は当面維持しながら、可能な経費の削減に努める。							

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意しながらかその効率的な価値評価を踏まえて成り下さい